

年度 2007 学期 前期	曜日・校時 火3	必修選択 選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(構成・デザイン) Language and Art (Constructive Art and Design)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等) 全学部	科目分類 人文・社会科学科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスパワー 担当教員: 織田 芳人 / Eメールアドレス: /研究室: 教育学部 美術・技術棟 2階 207号室 /オフィスパワー: 火 17:30~18:30(要予約)			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 本授業では、色に関する基礎知識を習得し、構成・デザインにおける美しさ・楽しさという観点を理解し、それらを踏まえて、紙という素材を利用した基礎的な造形表現の方法を習得することをねらいとする。</p> <p>授業方法: 資料提示によって学習すべき知識や造形作品の制作方法を理解した上で、実際の素材(トーンカラーや方眼カラーフォルムなど)を使用して、知識の確認および制作を行う。</p> <p>授業到達目標: 色に関する基礎的な説明ができる。また、構成・デザインにおける美しさ・楽しさという観点を踏まえた基礎的な造形表現ができる。</p>			
<p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>構成は美術・デザインに共通する色や形の造形要素を掘り下げることによって、造形の原理を追求する分野である。また、デザインはものの使いやすさ、美しさ、楽しさを考えて生活に役立つ造形品をつくり出していく活動である。そこで本授業では、色、平面構成、立体構成・デザインに関する知識と、それらを活かした基礎的な造形表現を学ぶ。</p> <p>第1回 授業の概略および必要な道具類の説明 第2回 色相環・補色残像 第3回 色紙による混色 第4回 「切る+滑らせる」操作による平面構成 第5回 立方体の変った展開図 第6回 立方体の変った展開図(続) 第7回 飛び出すカード 第8回 飛び出すカード(続) 第9回 切り起こし 第10回 切り起こし(続) 第11回 フェナキストスコープ 第12回 フェナキストスコープ(続) 第13回 アイソ・アクシス 第14回 アイソ・アクシス(続) 第15回 定期試験(筆記試験)およびレポート提出</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	トーンカラー(色彩学習用の色紙) 方眼カラードフォルム(片面方眼付の色工作紙) 白ケント紙(A4判)等		
成績評価の方法・基準等	全課題(造形作品等)提出 40% 課題の条件を満たしているか、制作作業がていねいか等を評価します。 全課題についてのレポート提出 40% ワープロソフトを使用し、全課題の写真画像を貼付して、各課題に関するコメントを記したものを。 全課題の写真画像については、プリント貼付でも可とします。 定期試験(筆記試験)20%		
受講要件(履修条件)	実技を伴いますので、受講者を45名までとします。 第1回に、授業で使用する道具類(はさみ、カッター、のり等)を説明します。 第2回から、それらの道具類を用意して受講してください。		
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			